

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第64期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	イワブチ株式会社
【英訳名】	IWABUCHI CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 内田 秀吾
【本店の所在の場所】	千葉県松戸市上本郷167番地
【電話番号】	047-368-2222（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役経理部長 池谷 謙一
【最寄りの連絡場所】	千葉県松戸市上本郷167番地
【電話番号】	047-368-2222（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役経理部長 池谷 謙一
【縦覧に供する場所】	イワブチ株式会社 名古屋支店 （名古屋市中区新栄一丁目32番33号） イワブチ株式会社 大阪支店 （大阪市淀川区田川北二丁目5番20号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第63期 第2四半期連結 累計期間	第64期 第2四半期連結 累計期間	第63期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	4,417,480	5,047,833	10,164,682
経常利益又は経常損失()(千円)	167,503	469,260	536,600
四半期(当期)純利益又は四半期純損失()(千円)	48,577	306,648	362,893
四半期包括利益又は包括利益(千円)	123,318	428,559	487,875
純資産額(千円)	13,147,737	14,159,012	13,703,953
総資産額(千円)	17,061,461	17,738,942	17,318,099
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()(円)	4.42	27.91	33.02
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	77.06	79.68	79.13
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	187,438	955,929	466,009
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	341,734	27,053	245,987
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	300,151	317,301	547,275
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高(千円)	1,623,060	2,420,053	1,751,780

回次	第63期 第2四半期連結 会計期間	第64期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	4.43	21.33

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第64期第2四半期連結累計期間及び第63期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第63期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、平成25年5月22日付で北栄鉄工株式会社の株式を取得し、子会社化したため、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策や日本銀行の金融政策などにより円安や株高が進み企業収益や個人消費が改善に向かうなど、緩やかな回復基調が見られました。しかしながら、欧州財政問題や新興国の経済停滞などに対する懸念もあり、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの大口需要家であります電力会社では、資材・役務調達コストの削減や、代替発電用の燃料費負担ならびに原子力発電所の再稼働に向けた安全対策投資などの影響から、設備投資が削減の方向にあり、当社グループに関連する配電線路・通信線路分野において工事量が減少傾向にあります。

また、情報通信関連において、NTTではスマートフォンやタブレット端末の普及を受けて、光回線工事が減少傾向にあり、依然厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループの生産部門では、省人化設備の導入や工程集約によるコスト削減ならびに品質の向上を図りました。また、海陽イワブチにおいても設備効率化の推進を図り価格競争力のある製品の生産に取り組みました。

また、営業部門では、警察庁の補正予算に伴う老朽化した信号柱建替や信号灯器のLED化工事、電気通信事業者による光伝送路や移動体アンテナ設置工事、NTTコンクリート柱の建替関連製品の拡販など精力的な営業を展開しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,047百万円と前年同期に比べ630百万円、14.3%の増収となりました。また、経常利益は469百万円(前年同期は経常損失167百万円)となり、四半期純利益は306百万円(前年同期は四半期純損失48百万円)となりました。

セグメントに代わる需要分野別の業績は次のとおりであります。

交通信号・標識・学校体育施設関連

学校体育施設関連は、防球ネット、照明工事共に小規模な補改修工事が主体ながら好調に推移しました。また、交通信号・標識関連は、警察庁の補正予算に伴う老朽化した信号柱建替や信号灯器のLED化工事が好調に推移しました。その結果、売上高は574百万円と前年同期に比べ67百万円、13.2%の増収となりました。

ブロードバンド・防災無線関連

防災無線関連は、計画されていた物件が一部下期に繰延べとなり低調に推移しました。しかしながら、ブロードバンド関連は、東海エリアを中心に物件が集中し好調に推移しました。その結果、売上高は578百万円と前年同期に比べ54百万円、10.5%の増収となりました。

情報通信・電話関連

情報通信関連は、電気通信事業者が進めている光伝送路や移動体アンテナ設置工事が全国的に好調に推移しました。また、電話関連においてNTTでは、関東・北海道エリアを中心とする老朽化したコンクリート柱の建替工事などが好調に推移しました。その結果、売上高は1,499百万円と前年同期に比べ351百万円、30.6%の増収となりました。

配電線路関連

配電線路関連は、電力会社における原子力発電停止に伴う火力発電用の燃料費や原子力安全対策コストの増加により当社に関連した配電予算が抑制傾向にあるなか、設備更新や太陽光発電システムに付随する工事などが好調に推移しました。その結果、売上高は1,548百万円とほぼ前年同期並みとなりました。

その他

民間設備投資は、政府の積極的な経済政策の影響もあり全国的にLED照明関連工事などが好調に推移しました。その結果、売上高は846百万円と前年同期に比べ130百万円、18.2%の増収となりました。

[次へ](#)

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末より668百万円増加し、2,420百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、955百万円のプラス(前第2四半期連結累計期間は187百万円のプラス)となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益の計上487百万円、減価償却費の計上196百万円及び売上債権の減少705百万円による資金の増加と、引当金の減少141百万円、たな卸資産の増加132百万円及び法人税等の支払い183百万円による資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、27百万円のプラス(前第2四半期連結累計期間は341百万円のマイナス)となりました。

これは、主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入93百万円による資金の増加と、有形固定資産の取得による支出81百万円による資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、317百万円のマイナス(前第2四半期連結累計期間は300百万円のマイナス)となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出195百万円及び配当金の支払い109百万円による資金の減少によるものです。

(3) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ420百万円増加し、17,738百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ240百万円増加し、9,701百万円となりました。

これは、主に現金及び預金が668百万円、商品及び製品が141百万円増加したことで、受取手形及び売掛金が609百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し、8,037百万円となりました。

これは、主に有形固定資産が84百万円及び投資その他の資産が96百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、3,579百万円となりました。

これは、主に支払手形及び買掛金が152百万円増加したことで、短期借入金が100百万円及び役員退職慰労引当金が85百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ455百万円増加し、14,159百万円となりました。

これは、主に利益剰余金が313百万円、その他有価証券評価差額金が85百万円及び為替換算調整勘定が31百万円増加したことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、88百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	11,000,000	11,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	11,000,000	11,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	11,000,000	-	1,496,950	-	1,210,656

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
住友商事株式会社	東京都中央区晴海1-8-11	1,000	9.09
イワブチ取引先持株会	千葉県松戸市上本郷167	760	6.91
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1-3-3	409	3.72
イワブチ従業員持株会	千葉県松戸市上本郷167	408	3.71
日本興亜損害保険株式会社	東京都千代田区霞が関3-7-3	398	3.62
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1-4-1	380	3.45
公益財団法人光奨学会	千葉県松戸市上本郷167	380	3.45
株式会社常陽銀行	茨城県水戸市南町2-5-5	359	3.26
新日鐵住金株式会社	東京都千代田区丸の内2-6-1	358	3.25
光岡 毅	千葉県松戸市	243	2.21
計	-	4,695	42.69

(注) 株式会社みずほ銀行は、平成25年7月1日をもって株式会社みずほコーポレート銀行と合併しております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 4,000 (相互保有株式) 普通株式 25,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,967,000	10,967	-
単元未満株式	普通株式 4,000	-	-
発行済株式総数	11,000,000	-	-
総株主の議決権	-	10,967	-

(注)上記「完全議決権株式(その他)」の「株式数」欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イワブチ(株)	千葉県松戸市上本郷 167	4,000	-	4,000	0.04
(相互保有株式) (株)アドバリュー	東京都中央区八重洲 2-7-12	22,000	-	22,000	0.20
(相互保有株式) 富田鉄工(株)	千葉県松戸市上本郷 97-1	3,000	-	3,000	0.03
計	-	29,000	-	29,000	0.26

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,601,780	4,270,053
受取手形及び売掛金	3,779,963	3,170,020
商品及び製品	1,649,625	1,791,444
仕掛品	153,947	187,151
原材料及び貯蔵品	198,204	219,100
その他	307,775	253,761
貸倒引当金	230,413	190,398
流動資産合計	9,460,882	9,701,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,498,393	2,516,486
土地	3,181,904	3,229,505
その他(純額)	542,373	561,374
有形固定資産合計	6,222,672	6,307,365
無形固定資産	112,404	111,452
投資その他の資産		
投資有価証券	1,144,361	1,310,352
その他	550,920	399,430
貸倒引当金	173,142	90,790
投資その他の資産合計	1,522,140	1,618,991
固定資産合計	7,857,216	8,037,810
資産合計	17,318,099	17,738,942

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,369,148	1,521,454
短期借入金	358,000	257,812
未払法人税等	89,482	200,726
賞与引当金	230,610	229,566
その他	357,251	266,123
流動負債合計	2,404,493	2,475,683
固定負債		
長期借入金	407,000	375,332
退職給付引当金	421,485	442,733
役員退職慰労引当金	236,639	151,596
その他	144,528	134,585
固定負債合計	1,209,652	1,104,246
負債合計	3,614,145	3,579,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,496,950	1,496,950
資本剰余金	1,210,656	1,210,656
利益剰余金	10,782,428	11,095,515
自己株式	2,886	2,906
株主資本合計	13,487,148	13,800,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,587	269,250
為替換算調整勘定	33,217	65,027
その他の包括利益累計額合計	216,804	334,277
少数株主持分	-	24,519
純資産合計	13,703,953	14,159,012
負債純資産合計	17,318,099	17,738,942

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	4,417,480	5,047,833
売上原価	3,279,642	3,472,900
売上総利益	1,137,838	1,574,932
販売費及び一般管理費	1,340,168	1,189,653
営業利益又は営業損失()	202,330	385,278
営業外収益		
受取利息	2,413	1,439
受取配当金	12,668	11,400
受取賃貸料	13,615	18,653
持分法による投資利益	18,127	3,695
貸倒引当金戻入額	-	51,592
その他	6,163	7,885
営業外収益合計	52,987	94,665
営業外費用		
支払利息	7,297	5,618
為替差損	2,158	5,059
貸倒引当金繰入額	8,574	-
その他	130	6
営業外費用合計	18,160	10,683
経常利益又は経常損失()	167,503	469,260
特別利益		
固定資産売却益	840	77
製品点検補修引当金戻入額	50,000	-
負ののれん発生益	-	19,032
特別利益合計	50,840	19,109
特別損失		
固定資産除売却損	10,147	1,078
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	1,500	-
特別損失合計	11,647	1,078
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	128,309	487,291
法人税等	79,731	176,204
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	48,577	311,086
少数株主利益	-	4,437
四半期純利益又は四半期純損失()	48,577	306,648

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	48,577	311,086
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,390	85,662
為替換算調整勘定	28,349	31,810
その他の包括利益合計	74,740	117,472
四半期包括利益	123,318	428,559
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,318	424,121
少数株主に係る四半期包括利益	-	4,437

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	128,309	487,291
減価償却費	206,680	196,735
負ののれん発生益	-	19,032
引当金の増減額(は減少)	48,439	141,251
受取利息及び受取配当金	15,081	12,839
支払利息	7,297	5,618
持分法による投資損益(は益)	18,127	3,695
売上債権の増減額(は増加)	352,421	705,500
たな卸資産の増減額(は増加)	144,566	132,051
仕入債務の増減額(は減少)	3,574	29,417
未収消費税等の増減額(は増加)	68,282	-
未払消費税等の増減額(は減少)	24,126	68,672
その他	2,001	18,048
小計	298,707	1,028,973
利息及び配当金の受取額	17,783	16,589
利息の支払額	8,297	6,600
法人税等の支払額	120,755	83,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	187,438	955,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,800,000	1,650,000
定期預金の払戻による収入	1,900,000	1,650,000
有形固定資産の取得による支出	441,611	81,051
有形固定資産の売却による収入	22,386	252
無形固定資産の取得による支出	290	1,096
投資有価証券の取得による支出	859	898
会員権の取得による支出	-	4,485
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	93,984
貸付けによる支出	85,000	200
貸付金の回収による収入	69,040	20,747
その他	5,400	199
投資活動によるキャッシュ・フロー	341,734	27,053
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	179,000	195,387
自己株式の取得による支出	53	19
配当金の支払額	109,326	109,741
その他	11,771	12,154
財務活動によるキャッシュ・フロー	300,151	317,301
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,756	2,592
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	451,690	668,273
現金及び現金同等物の期首残高	2,074,751	1,751,780
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,623,060	2,420,053

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

平成25年5月22日付で北栄鉄工株式会社の株式を取得し、子会社化したため、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が前連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	133,077千円	-千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
賞与引当金繰入額	110,104千円	110,484千円
給料及び手当	345,831	342,230
役員退職慰労引当金繰入額	43,567	28,486
貸倒引当金繰入額	157,287	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	3,623,060千円	4,270,053千円
預入期間が3カ月を超える定期預金	2,000,000	1,850,000
現金及び現金同等物	1,623,060	2,420,053

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	109,957	10	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	109,956	10	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)において、当社グループは架線及び機器用の支持部品である電気架線金物及びその付随製商品の製造、仕入、販売を営んでおり、その事業が単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半 期純損失金額()	4円42銭	27円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	48,577	306,648
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損 失金額()(千円)	48,577	306,648
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,988	10,988

(注)前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

イワブチ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 堀切 進 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小出 健治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイワブチ株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イワブチ株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。